

第6回経営改善委員会 議事概要

1. 日 時 令和4年6月2日（木） 16時30分～18時30分
2. 場 所 JR北海道本社 会議室
(※の出席者はWEB会議形式で参加)
3. 出席者
 - (1) 委 員 片野坂真哉委員長、知野雅彦委員(※)、友定聖二委員、石井吉春委員、檜森聖一委員、上浦正樹委員
 - (2) オブザーバー 国土交通省 石原大鉄道局審議官、田口芳郎鉄道局鉄道事業課長
国土交通省北海道運輸局 岩城宏幸局長
鉄道・運輸機構 英浩道経営自立推進統括役(※)
 - (3) JR北海道 田浦芳孝会長、島田修社長、綿貫泰之副社長、田畑正信常務、宮越宏幸常務、渡利千春常務、萩原国彦取締役、島村昭志取締役

4. 議事概要

(1) JR北海道グループ経営改善に関する取り組みについて

「JR北海道グループ経営改善に関する取り組み」(本委員会後、6月3日に公表)について議論した。

委員より以下のご意見があった。

- 観光列車、小売、ホテル等の分野で一層の努力が必要。
- 今後回復が見込まれるインバウンド需要をどう北海道に持ってくるかが、増収策を考える主軸となる。
- コスト削減について、成果達成の項目が多かったことを確認した。
- 気候変動等の影響による雪害等への備えが重要。
- 引き続き社員の意欲向上に向けて会社として努力し、社員の満足度やエンゲージメントを高める施策を打ち出すことが重要。
- 増加している若年退職者数について、改善することが急務。
- カーボンニュートラルにはしっかり取り組むことが重要。

委員からのご意見に対して、会社から次の説明を行った。

- ◆ 増収の努力が不十分な点について、状況を分析し、対応していく。
- ◆ インバウンドの回復に向け、北海道の観光について海外にしっかりと情報発信していく。
- ◆ 若年退職対策として、この春に21年ぶりのベースアップを実施した。今年度は人事制度の整備や、経営計画への社員の意見の募集などに取り組んでいく。

以 上